

石川島記念病院

山口 あゆみ (佃訪問看護ステーション / 看護師)

功 績 2025年7月に応援ナースとして入職し、他の訪問看護師がいない状態から佃訪問看護ステーションを守り続け、3月より常勤職員として働きはじめた功績。

推薦者氏名 若林陽盛

推薦理由 応援ナースから常勤化し、正式に佃訪問看護ステーションの所長としての役割を担い、在宅事業部の活性化の中心職員として今後も輝き続けてくれると考えます。従いまして理事長賞に推薦させて頂きたく存じます。

内 容

このたび、理事長賞の候補者として、佃訪問看護ステーション所長の山口あゆみ看護師を推薦いたします。佃訪問看護ステーションは2024年10月に開設され、同時に3名の看護師が入職し、事業を開始いたしました。しかし、2025年5月までに開設時の3名はいずれも不在となり、同年7月に入職した山口看護師が、実質的に1名でステーションの運営を担う状況となりました。

その後、訪問看護師がもう1名入職したものの、山口看護師は所長代理として、既存のご利用者を一人も失うことのないよう、近隣のケアマネジャーとの調整を丁寧に行い、自身が一人でも対応可能な訪問スケジュールを立案・実行してくれました。また、新規ご利用者の受け入れが継続できるよう、院内のMSWとも密に連携を図ってくれました。

その結果、6月には一時的に稼働が大きく落ち込んだものの、その後は着実に利用者数を回復させ、現在も増加基調を維持しています。

山口看護師は、当初は応援ナースとして当院に入職しました。海外での看護経験を糧に、今後は日本で訪問看護に従事し、入院から在宅まで、また国籍を問わず多くのご利用者に看護を提供していきたいという強い思いを持っていました。その志のもと、今年度3月より常勤看護師として当院に身を置き、継続的に尽力してくれています。

現在の患者数はまだ十分に多いとはいええないものの、これまでご利用者、ご家族、ケアマネジャーからクレームを受けたことは一度もありません。これは、山口看護師が一人ひとりに真摯に向き合い、誠実に看護を提供してきた結果であると考えます。

次年度は、当院にとって在宅事業部全体の活性化が極めて重要な課題となります。山口看護師は、その中心を担う職員の一人として、今後も確実に活躍してくれる存在であると確信しております。